

## お知らせ

記者発表資料

令和8年3月30日

# 中国地方整備局直轄管理ダムにおけるハイブリッドダムの取り組み

～一般家庭約7,600戸分の月間消費電力量に相当する発電量増を実現～

中国地方整備局管内の直轄管理ダムではカーボンニュートラルに向けたハイブリッドダムの取り組みを実施しています。  
令和7年度は約2,000MWhの増電効果があり、これにより約1,000tのCO<sub>2</sub>削減に寄与したものと試算しています。

中国地方整備局管内の直轄管理ダム(土師ダム、八田原ダム、温井ダム)ではカーボンニュートラルへの対応を目的としたダムの水位運用高度化操作の試行により、治水機能の強化と水力発電促進を両立させるハイブリッドダムの取り組みを実施しています。

本取り組みは、従来平常時最高貯水位または制限水位を超えないダム貯水位運用に対し、最新の気象予測技術等を活用し、洪水対応に支障の無い範囲でダム貯水池に流水を一時的に貯留し、中国電力株式会社各発電所で効果的に発電しながら放流するものです。

令和7年度は3ダムにより6月4日から10月24日迄の間に計17回の試行運用を行い、合計で通常の運用より約2,000MWhの増電効果がありました。  
これは約7,600戸(※1)の一般家庭が1ヶ月に消費する電力量に相当するとともに、約1,000t(※2)のCO<sub>2</sub>削減に寄与したものと試算しています。

今後とも両者で協力して、水資源の有効活用と共に脱炭素社会の実現に向けての取り組みを推進し、社会に貢献してまいります。

※1. 一般家庭の1か月の消費電力量を260kWhとして試算。

※2. 1kWh当たり0.51kgを削減として試算。

### <問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 河川部 河川管理課

082-221-9231(代表)

### 【担当】

広域水管理官 丸下 淳一 (内線3516)

課長補佐 小松 芳彦 (内線3756)

中国電力株式会社 地域共創本部 報道グループ

082-544-2846

- 土師ダムでは、気象変動への適応・カーボンニュートラルへの対応として、治水機能の強化と水力発電の促進の両立を目的にダムの運用高度化に取り組んでいます。
- 令和7年度は2回の試行運用を行い、通常の運用に比べ約1,110MWhの増電効果がありました。これは約4,260戸（※1）の一般家庭が1か月に消費する電力量に相当するとともに、約560t（※2）のCO<sub>2</sub>削減に寄与したものと試算しています。

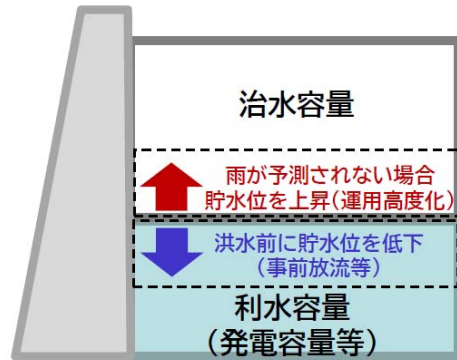
※1：一般家庭1か月の消費電力量を260kWh/月として試算

※2：1kWh当たりCO<sub>2</sub>削減量を0.51kg/kWhとして試算

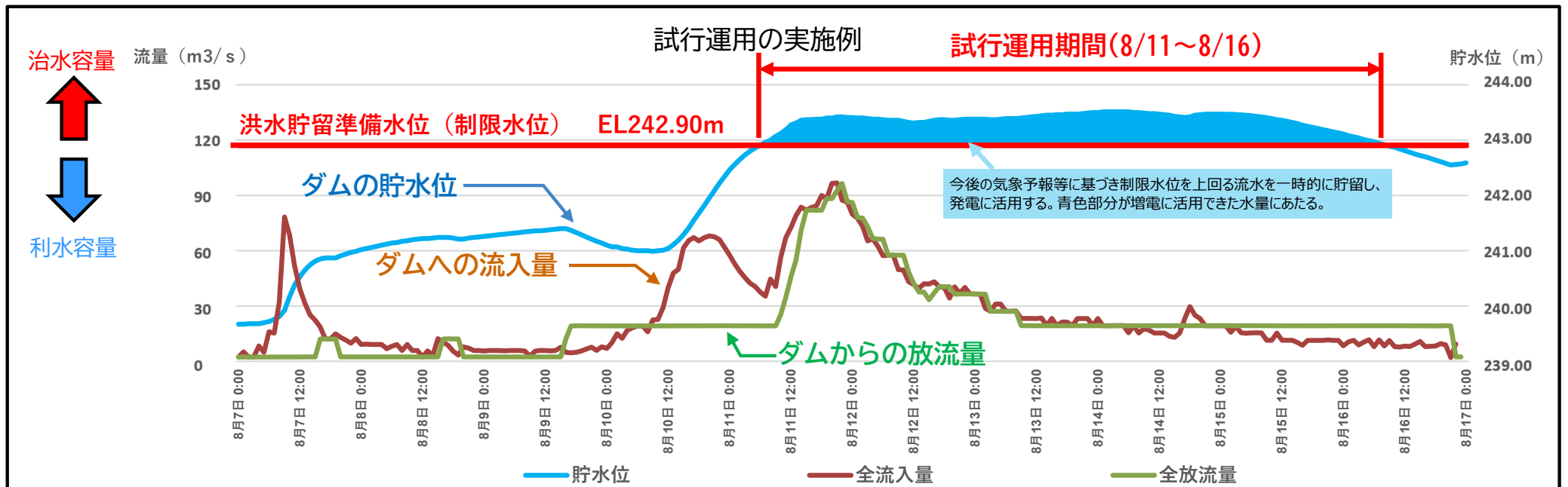
**ダム運用の高度化**

気象予測も活用し、治水容量の水力発電への活用を図る運用を実施。

〔・洪水後期放流の工夫  
・非洪水期の弾力的運用〕 など



回数	試行運用期間	発生電力量(増電分)		
		電力量 (kWh)	家庭換算 (世帯)	CO2削減 (kg)
1	8月11日 5:00 ~ 8月16日 9:00	510,000	1,962	260,100
2	9月16日 18:00 ~ 9月24日 6:00	600,000	2,308	306,000
合計		1,110,000	4,269	566,100

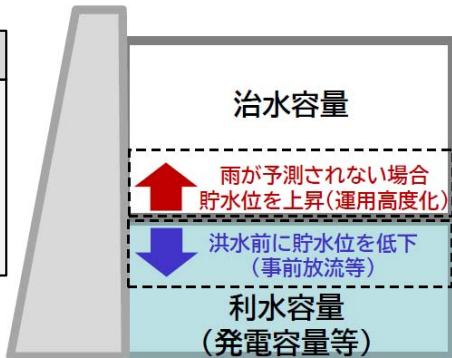


# 令和7年度八田原ダム運用高度化（試行）の実施結果

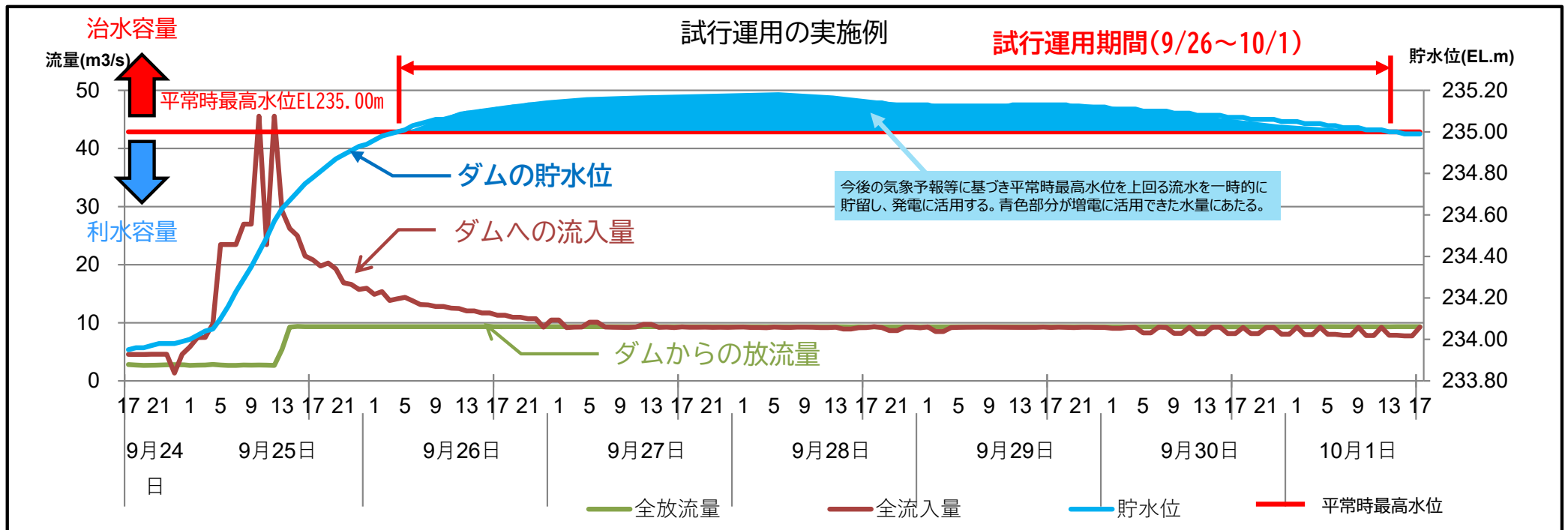
- 八田原ダムでは、気象変動への適応・カーボンニュートラルへの対応として、治水機能の強化と水力発電の促進の両立を目的にダムの運用高度化に取り組んでいます。
- 令和7年度は3回の試行運用を行い、通常の運用に比べ77MWhの増電効果がありました。これは約290戸（※1）の一般家庭が1か月に消費する電力量に相当するとともに、約39 t（※2）のCO<sub>2</sub>削減に寄与したものと試算しています。

※1：一般家庭1か月の消費電力量を260kWh/月として試算  
 ※2：1kWh当たりCO<sub>2</sub>削減量を0.51kg/kWhとして試算

**ダム運用の高度化**  
 気象予測も活用し、治水容量の水力発電への活用を図る運用を実施。  
 ・洪水後期放流の工夫  
 ・非洪水期の弾力的運用 など



回数	試行運用期間	発生電力量(増電分)		
		電力量(kWh)	家庭換算(世帯)	CO2削減(kg)
1	6月4日 9:40 ~ 6月4日 14:50	1,500	6	765
2	9月26日 4:20 ~ 10月1日 12:30	40,500	156	20,655
3	10月5日 20:10 ~ 10月7日 17:30	35,000	135	17,850
合計		77,000	296	39,270



# 令和7年度温井ダム運用高度化（試行）の実施結果

## 温井ダム

- 温井ダムでは、気象変動への適応・カーボンニュートラルへの対応として治水機能の強化と水力発電の促進の両立を目的にダムの運用高度化に取り組んでいます。
- 令和7年度は12回の試行運用を行い、通常の運用に比べ約813MWhの増電効果がありました。  
これは約3,120戸（※1）の一般家庭が1か月に消費する電力量に相当するとともに、約410 t（※2）のCO<sub>2</sub>削減に寄与したものと試算しています。

※1：一般家庭1か月の消費電力量を260kWh/月として試算

※2：1kWh当たりCO<sub>2</sub>削減量を0.51kg/kWhとして試算

回数	試行運用期間	発生電力量（増電分）		
		電力量	家庭換算	CO2削減
		(kWh)	(世帯)	(kg)
1	6月30日 11:00 ~ 7月2日 20:00	13,917	54	7,098
2	7月4日 17:00 ~ 7月8日 19:00	60,086	231	30,644
3	7月9日 2:00 ~ 7月11日 15:00	41,751	161	21,293
4	7月12日 3:00 ~ 7月14日 8:00	34,666	133	17,680
5	7月15日 15:00 ~ 7月20日 9:00	60,715	234	30,965
6	8月7日 22:00 ~ 8月9日 19:00	28,797	111	14,687
7	8月13日 17:00 ~ 8月24日 4:00	104,959	404	53,529
8	9月12日 18:00 ~ 9月14日 6:00	34,682	133	17,688
9	9月16日 10:00 ~ 9月18日 3:00	25,846	99	13,181
10	9月20日 8:00 ~ 9月20日 18:00	4,639	18	2,366
11	9月24日 12:00 ~ 10月3日 12:00	194,176	747	99,030
12	10月17日 10:00 ~ 10月24日 16:00	209,418	805	106,803
合計		813,653	3,129	414,963

**ダム運用の高度化**

気象予測も活用し、治水容量の水力発電への活用を図る運用を実施。

〔洪水後期放流の工夫  
・非洪水期の弾力的運用〕 など

